

## 杉並清掃工場建設工事説明会における主な質疑応答(要旨)

### 【施設概要】

| No | ご意見・ご質問の要旨                         | 当組合の見解等  |
|----|------------------------------------|--|
| 1  | 新しい工場で焼却炉の形式はどのようになるのか。            | 旧工場と同じ全連続燃焼式火格子焼却炉です。この形式は、清掃一組の清掃工場で最も多く採用しており、実績や安全性の面から当工場でも採用することにしました。  |
| 2  | 新しい工場は、焼却炉の規模が300トン2炉となった理由は何か。    | 旧工場では、300トン炉が3炉ありましたが、うち1炉は予備炉として設置していたため、通常は2炉のみの運転でした。<br>ごみの中間処理は、23区内にある清掃工場で共同処理しており、当工場で処理できない場合は、他の工場で処理することになります。費用面でも1炉減らすことの効果が大きい点も含め、今回は、2炉を設置することにしました。   |
| 3  | バンカの底部の厚さはどのくらいか。                  | 一番厚いところで約2.5メートルの厚さがあります。  |
| 4  | 煙突は再利用で大丈夫なのか。劣化していないのか。なぜ、再利用なのか。 | 鉄筋コンクリートは、特に何もなければ60年以上持つとされています。今回、コンクリートの劣化状況を調査しました。調査結果では、コンクリートの中性化について経年進行の予測値を下回っており、中性化の進行は遅くなっていることが判明しました。細かいひび割れについては、それぞれ補修していきます。<br>また、9種類の地震波を入力して、「時刻歴応答解析」を行い、検証し、問題ないことを確認しています。第三者評定機関の評定も受けており、構造的に問題はありません。<br>これらのことから、煙突の外筒は再利用することにしました。 |
| 5  | 支持層はGLマイナス何メートルか。                  | 工場敷地レベルからはマイナス20メートルで、周辺の地盤からは、大体マイナス30メートルくらいです。  |
| 6  | 地質調査はGLマイナス何メートルまで実施したのか。          | 今の工場のレベルからマイナス50メートルまでボーリング、地盤の調査を行っています。  |

|   |                                       |  |
|---|---------------------------------------|--|
| 7 | 地質においてN値はどのくらいであったか。                  | 地下深く掘るため、工場自体の躯体が支持層に届いています。届いていない部分は、支持層に杭を打ちます。支持層のN値は、50以上出ています。                              |
| 8 | この地区の地盤はどのようなになっているのか。地下水の調査はしているはずだ。 | 地下水に関しては、まず、表層から5メートル前後の部分に水の層があり、次に水を通さない層があります。その下に、また水を通す層、通さない層、また通す層、というようなサンドイッチ構造になっています。 |

### 【工事工程・作業計画】

| No | ご意見・ご質問の要旨                        | 当組合の見解等  |
|----|-----------------------------------|--|
| 1  | なぜ、この時期に建設工事説明会を開催するのか。           | 建設のための地下掘削の開始時期を平成27年5月頃と見込んでおり、早めにお知らせしてご意見等をいただければと考え、説明会を開催しました。  |
| 2  | 完成後の運転中における地震への対応はどうなっているのか。      | 運転中の対策としては、清掃工場の建物に感震計を設置し、基準として250ガルの振動を感知した段階で、焼却炉を自動停止します。  |
| 3  | 仮設テントの中で、作業員の労働環境の安全対策はどうなっているのか。 | 解体工事においては、作業員にとって粉じんと排ガスが一番懸念されます。<br>対策としては、屋根に水を霧状に発生させる装置を設置し、粉じんを吸着させて落とす方法や、手動による散水で粉じんの発生を抑えています。また、大型の集塵機を設置し、テント内の空気を循環させています。 |

### 【建設工事】

| No | ご意見・ご質問の要旨      | 当組合の見解等  |
|----|-----------------|--|
| 1  | 人工地盤を設置する目的は何か。 | 工場敷地の北西側は、一般的に開放する広場、もしくはイベント会場として使用することを想定して設置しています。北東側は、工場関係車両の駐車場として使用します。<br>北側は、清掃車両が走行する際、できるだけ目につかず、騒音を軽減する効果も考えて設置しています。 |

## 【土壌汚染】

| No | ご意見・ご質問の要旨                            | 当組合の見解等  |
|----|---------------------------------------|--|
| 1  | 土壌汚染の処理に関する説明があったが、新しい工場でも土壌が汚染されるのか。 | <p>この地に土壌汚染がある原因として、以下の4つの事項が考えられます。</p> <p>1つ目は、「清掃工場が建設される以前に、土壌汚染を引き起こすような工場があった」ということです。</p> <p>しかし、環境アセスメント調査の中で、土地の歴史「地歴」を調べましたが、そのような工場はなかったのでは考えにくいです。</p> <p>2つ目は、「旧清掃工場の建設時、汚染された土壌が持ち込まれた」ということです。</p> <p>しかし、旧清掃工場の建設においても深く掘り下げており、土を運び出すことはあっても、持ち込む状況にはなかったのでは考えにくいです。</p> <p>3つ目は、「清掃工場の操業過程で汚染された」ということです。</p> <p>ひ素が検出された部分には、旧工場の建物が建っていました。清掃工場では、焼却灰を冷やす過程があり、その水を分析していましたが、ひ素はほとんど検出されていないので、ひ素による汚染は考えにくいです。また、工場の地下部はしっかりと造られており、破損して漏れることは考えにくいです。</p> <p>4つ目は、「自然由来」ということです。</p> <p>環境省のデータによると、「自然由来」による汚染地域が60か所程度登録されています。その地域から検出されている化学物質のほとんどが、ひ素、ふっ素、鉛であり、この場所と同じであります。</p> <p>これらの状況証拠を考え合わせると、「自然由来」の可能性が一番高いと考えています。</p> <p>新しい工場もしっかりとした建物を建てるとともに、外部に漏れだすことがないように適正管理しますので土壌を汚染することはないと考えています。</p> |

## 【環境保全対策】

| No | ご意見・ご質問の要旨                          | 当組合の見解等                |
|----|-------------------------------------|------------------------|
| 1  | 現在までの解体工事において、法規制がクリアされなかったことはあるのか。 | 騒音や振動等について、全てクリアしています。 |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 2 | 建設工事で騒音がどのようになるのか、どのような対策をするのか説明してほしい。 | 解体工事は仮設テント内で進めています。騒音は、高いときには75デシベル前後になっています。建設工事では、仮設テントがなくなります。継続的に騒音が発生する工事として、コンクリート打ちや鉄筋の組立てが考えられます。重機のエンジン部分への防音パネル設置等の対策とともに、その時々状況に応じて、重機の配置や作業手順を工夫するなど、今までと同様にできるだけこまめに対応していきます。 |
| 3 | 新しいプラントにおいて、低周波騒音への対応はどうなっているのか。       | 低周波について、環境アセスメントで検討しています。清掃工場にある機械は、低周波が出る機械リストにないことや、今までの清掃工場の稼働実績から低周波騒音は出ないと考えています。   |
| 4 | 放射能は大丈夫なのか。                            | 焼却灰から検出される放射能は、年々下がる状況にあり、影響が出ることはないと考えています。<br>排ガスについて、23区内の清掃工場では放射能が検出されたことはなく、現状からすれば、新しい工場においても問題はないと考えています。  |
| 5 | 有効煙突高さはどのくらいになるのか。                     | 煙突から排出される排ガスは、噴出速度があり、煙突を出た後もかなり上空まで上がっていきます。その際、煙突のようになる高さのことを「有効煙突高」と言っています。季節や気象条件等によって異なりますが、当組合の調査では、約2倍の高さになりました。  |

### 【新工場の特徴】

| No | ご意見・ご質問の要旨                 | 当組合の見解等   |
|----|----------------------------|---|
| 1  | 新しい工場のセールスポイントを3つ程度教えてほしい。 | <p>プラント部分では、蒸気タービン発電機の発電量が、最大2万4,200キロワットで旧工場の約4倍になります。また、発電効率は、通常、20%超で高効率と言われますが、当工場では24.4%という発電効率を誇ります。</p> <p>建物部分では、敷地の緑化に加え、屋上、壁面もできる限り緑化し、緑に覆われた清掃工場になります。また、旧工場よりも建物高さを低くしたことや、形状を工夫したことにより、周囲に与える圧迫感の軽減を図っています。</p> <p>工場見学者の対応として、ごみをつかんだ「クレーンバケット」が接近してきて間近で見学できるなど、迫力やリアル感等を味わえるエリアを計画しています。また、ごみ焼却の余熱を利用した足湯の体験コーナーも</p> |

|   |                               |   |
|---|-------------------------------|---|
|   |                               | <p>考えています。</p> <p>この地の清掃工場建設をめぐる歴史等の資料を展示し、そこから得た様々な教訓等を後世に伝えるべく資料室を設置します。資料室の設置は杉並清掃工場のみで他の工場にはありません。</p>          |
| 2 | 発電電力は何に使用するのか。                | <p>発電電力は、清掃工場を稼働するために施設内で使用し、余ったものは、電気事業者へ売却します。売却で得た収入は、清掃一組の収入になり、この収入が増えれば、各区の分担金が軽減されます。</p>                    |
| 3 | 敷地(緑地部分)は24時間開放されるのか。         | <p>全体を一周する周回路を設けます。常時開放された状態になるのは、工場敷地の北側区道沿いと東側区道沿いになります。それ以外は、時間を決めて開閉します。開放時間や休日の取扱い等は、工場の運営体制が整ってから決めていきます。</p> |
| 4 | 資料室を設置する目的は何か。                | <p>旧杉並清掃工場を建設するにあたって、地域住民の方々が大変苦しい思いをされましたが、住民と行政が協議を繰り返し、和解して建設に至ったことの重要性を後世に伝えるため、資料室を設置します。</p>                  |
| 5 | 炭素繊維材料等、新たなごみに対応できるのか。        | <p>炭素繊維が「燃えない」ということであって、かなりの量となると分別してもらうことになります。ごく少量であれば、入ってきてしまっても、燃え残りの灰として埋めることになります。</p>                        |
| 6 | 焼却灰の搬出方法について、構造的に変わるところはあるのか。 | <p>有害物質の除去や薬剤処理を行った後、密閉性の高い運搬車で搬出します。運搬車の蓋は、工場建物内で閉めます。</p>   |

## 【その他】

| No | ご意見・ご質問の要旨  | 当組合の見解等  |
|----|---|--|
| 1  | 清掃一組と杉並区との関係を説明してほしい。                                     | <p>東京23区のごみ処理は、ごみの収集・運搬は各区、中間処理は、23区が設立した東京二十三区清掃一部事務組合で共同処理を行っています。なお、最終処分(灰の埋立て)は、東京都が行っています。</p>  |
| 2  | 建設工事費において、杉並区の負担金額はどのくらいか。その割振りは、何を基準(ごみ量、人口等)に決められているのか。 | <p>清掃一組の歳入は、23区が負担する分担金、事業者が持込むごみの処理手数料、循環型社会形成交付金、電力売却収入等です。平成27年度の杉並区の分担金は約17億円です。</p> <p>分担金は、ごみ量を基に金額が決まります。</p> <p>杉並清掃工場の建替えには、環境影響評価等の調査、解体や建設の工事等で約260億円の費用がかか</p> |

|   |                                     |  |
|---|-------------------------------------|--|
|   |                                     | ります。費用は23区全体で負担します。準備段階から工事完成までには約9年間に要しますが、かかる費用は年度によって異なります。 |
| 3 | 問合せ窓口を明確にして、問題発生時に迅速に対応できるようにしてほしい。 | 配布した資料、リーフレット等に問合せ先を掲載していますので、ご連絡いただければ迅速に対応していきます。            |
| 4 | 現場見学会は開催するのか。                       | 地下部の掘削を進め、乗入れ構台を設置した頃に開催することを考えています。チラシ等でお知らせします。              |